

宇大生による



オンラインSDGs映画上映会 第5弾



海南 友子

抱く (HUG)

Sole Luna Documentaries
Film Festival Palermo
WINNER
The Best Documentary
Foreign Language

Buenos Aires
International Film Festival
UNRA Japan
Documentary Film Festival

Disney
Film Festival
Cebu
Film Festival

Sole Luna Documentaries
Film Festival Torino
Pinar del Rio International Festival of
Ecological Documentary

French International
Women's Film Festival
Elles Tournent
Miyagi International
Film Festival

生まれくる 新しい命のために
私はどんな未来を描けるのだろうか？

2020年

11月23日

(月・祝)

13:00-16:00

『抱く』HUG』

見えな
い恐怖から
子供を守り
たかった

主催：宇都宮大学国際学部 環境と国際協力（高橋若菜）研究室
福島原発震災に関する研究フォーラム

後援：NPO法人うつのみや環境行動フォーラム
宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター
NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク

問い合わせ先：

uu.movieteam@gmail.com

Tel: 080-7265-5174

(平日9:00~16:00)

不在時折り返します)

宇大生によるオンライン
SDGs映画上映会 第5弾

「抱く～HUG～」

※本作品には、地震後の映像や津波発生時の音声などがございますのでご注意ください。

先着 **60名**

参加費
500円

学生・避難者の
方々（希望する
方は100%引）

※参加費お支払いに用いるPaypayはお手持ちのスマホにて手数料なしで登録利用できる決済システムです。

※参加費は映画上映会の実費です。残額が生じた場合は、COVID-19により困難している学生の援助のために使用します。(宇都宮大学国際学部環境と国際協力研究室が資金管理を担います。)

※オンライン会議システムZOOMを利用した映画上映会になります。ZOOMは無料会員登録しお手持ちのPCやタブレットにダウンロードできます。ZOOMの利用登録をすませ、安定した通信環境をご用意ください。

あの日から、もうすぐ10年。
福島では、37,000人が今でも避難を余儀なくされています。
東日本大震災や原発事故により、
人々の平穏な生活は奪われました。
不安や怒り、悲しみ、悔しさは消えることはありません。

原発事故後、本当は何が起きていたのでしょうか。
放射能の见えない恐怖を体験したことはありますか。
これからも原発のリスクを背負いながら
子育てをしたいですか？

今まで原発の電力で生活してきた私たち。
今、動き出す原発再稼働の流れ。
目を背けてはなりません、電気を使う消費者として。

日時：11月23日(月・祝)13:00～16:00

第1部 (80分) 映画鑑賞

10分間休憩

第2部 (90分) ワークショップ

学生による発表

清水奈名子(宇都宮大学国際学部准教授)解説
グループ/全体ディスカッション

※終了後、ご希望の方は座談会にもご参加いただけます。

<申し込み方法> メ切：11月21日(土)

①右のQRコードより
事前に申し込みを行い、
事前アンケートに
ご回答ください。



[<https://jp.surveymonkey.com/r/HCX8ZKR>]

②お申し込みが完了した方に、3日以内にお支払い情報をお送りします(一般のみ)。

③お申込みとお支払い(一般)が完了した方に、当日の参加情報(ZOOMなど)をメールにてお知らせします。

Paypayの使い方はこちら → <https://paypay.ne.jp/guide/>

ZOOMの使い方はこちら → <https://zoom-tatsujin.com/using/>

Paypayでのお支払いやZOOM使用に困難がある場合、
お気軽にお問い合わせください(uu.movieteam@gmail.com)

